

# 広報かわにし

発行所	川西町役場
発行者	川西町
(町長)	中村幸五郎
編集者	金子南一
印刷所	日動
定価	1部5円
人口	1,734人
(9月1日現在)	754人
(男女計)	1,489人
世帯数	276世帯

## 「ことしは取付道路を」 三カ年計画で完成

### 信濃川架橋きままる

七月二十三日の定例県議会で、信濃川の架橋(川西、十日町間)が決まった。架橋位置と橋名は近々甲に県から通報があるものと思われる。これは県が行なう事業のため細部について知ることとはできないが、ことしは七百五十万円の予算で取り付け道路の工事に入るらしく、また、橋の構造や規模などについては、これから県で最終決定がなされるという。

すでに測量も終わっているのです。この三カ年計画で工事に着手するといわれるが、このため一億数千万円の巨額が投せられる。多年の要望であった信濃川の架橋が、いよいよ実現の段階に入ったわけである。

### 期成同盟会の

#### もたらした喜び

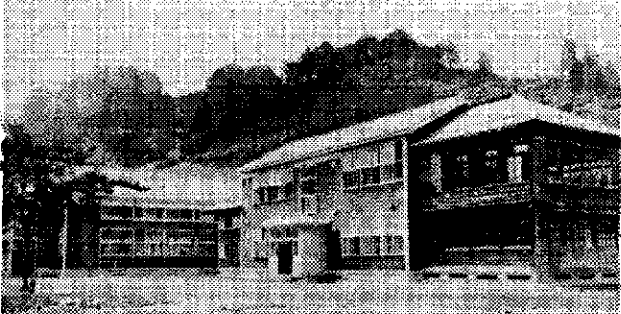
この話が具体化したのは昭和十七年、当時の橋、上野、下条の三カ村に仙田、真人が加わって

「信濃川架橋期成同盟会」が結成され、五カ村で諸団運動を続けてきたものだが、合併後はそれぞれ(川西)と市(十日町・小千谷)に引き継がれ、川西町役場に事務所が置かれて、中村会長(川西町長)を中心にこれまで架橋促進を働きかけてきたもの。

### 今後の躍進に期待

わたたくしたちは、これまでいふんと不便な思いをしてきた。目の前に駅がありながら、二つの渡しを頼る以外には利用できなかったのである。信濃川がちよつとでも増水するともう船止め、それも一カ月ぐらいつづいたことがあった。船頭の山家文作さん(当時六十才)が、満員の船もつとも濁流にのまれてしまったのは、昭和二十一年秋のことだ。八人の乗客は数日後に死体で発見されたが、山

家さんだけは十三年後の今日までにゆくえが知られていない。しかし、こんな悲しい思い出も今は昔に替わる日が近い。この川にりっぱな橋がかげられるから人はもちろんのこと、物資の交流や農産物の出荷が盛んに行なわれる。町の産業はすばらしく躍進するだろう。とくに冬の間には、この橋が貴重な存在となってくれ、この橋を中心として発展する町の将来には、図り知れない夢が託されているのである。



高倉分校と橋診療所(第八号)で詳細ができた。いずれも予定より早くしゅん工して、それぞれの業務を開始している。

長い長い念願であっただけに地元の喜びは大きく、町の建設史に一ページを加えた意義は深い。

◆橋診療所  
しゅん工式 八月二十一日  
本館 延べ三四〇平方メートル  
給食とら 一三四平方メートル  
車庫 一四、九平方メートル  
改築費 四八四万円

◆高倉分校  
しゅん工式 八月二十二日  
校舎 三二七、四平方メートル  
屋内体育館 一三八平方メートル  
増改築費 六二〇万円

高倉分校の全景  
撮影……小林 伝司

新築なった橋診療所  
撮影……押木 秀治

## 町づくり

### 青年に理解と協力を

高橋子平先生と、仙田の青年講習会に出席したことがある。きよねんの八月の末、長雨のそは降るうすら寒いほどの日であった。「青年の若さに期待する」と題した講義が強く印象に残っているのも、思えばなくならぬ十日前のことだったからだろうか。先生はあのとき「これからの町づくりは諸君の双肩にかかっている」と力説された。そして次のように語られたことを記憶している。

▲「封建性の強いこの地域がもし東京のまん中に一郭をなしていたら、一体どんな結果になるでしょうか。ジャーナリズムから大きな社会問題としてたたかれて、日本中の世論をわかすにちがいがありません。この土地に生まれ、この環境に育った者には、とかくめだたないことが多いのですが、わたしたちはこのめだたない郷土の実態をよく見きわめ、短所の一つ一つを改革してゆかなければならぬいでしょう。この問題によりくむことができるのは、青年の若さよりにほかにないのです。どうか皆さんは、全力をあげて封建性の打破に向かってください」と

▲「われわれは青年の若さに期待している。ところが期待するのあまりに批判だけして、あとはふり向かないといった人も多い。いまか

### 川西町は伸びる

うか。ジャーナリズムから大きな社会問題としてたたかれて、日本中の世論をわかすにちがいがありません。この土地に生まれ、この環境に育った者には、とかくめだたないことが多いのですが、わたしたちはこのめだたない郷土の実態をよく見きわめ、短所の一つ一つを改革してゆかなければならぬいでしょう。この問題によりくむことができるのは、青年の若さよりにほかにないのです。どうか皆さんは、全力をあげて封建性の打破に向かってください」と

▲「われわれは青年の若さに期待している。ところが期待するのあまりに批判だけして、あとはふり向かないといった人も多い。いまか

り、「オラの部落は封建的だ。民主主義の世の中ですよ。」と叫んで立ちあがった青年があっても「なるほどキミの言うとおりだ」といつてすなわに賛成してくれる人は少ないだろう。この青年は大部分の人から白い目で見られ、場合によっては「アカツポイ」とまでいわれて、みんなから毛ギライされてしまうのではあるまいか。

▲若さにものをいわせてハリキツテはみても、村の衆はいっこうについてきてくれない。そのうちに嫁をもらって「とうちゃん」と呼ばれるようになると、いきおい若さを失って「トツツア」になってしまう。あとにつづく青年たちもこれを踏襲して、「しだいに地域のしきたりの中に埋もれてしまふ」というのが、これまで青年たちの歩んできた悲しいあきらめなのではなかったか。

▲今どきの若い人に目を向けてみよう。町の将来をになう多くの青年たちが、地域を明るく発展させようと努力している。かれらの率直な意見に耳をかたむけ、せはせはヒとはとして支援してゆくことを忘れてはなるまい。青年を理解し夢と希望をもたせて協力してやることが、これからの町づくりにつながっているのである。

▲かえらぬ人高橋町教育長をしのんで、あの日の一コマから現実の問題をとりあげてみた。

あれから一年、青年たちが奮起して地域の改革にとりくみ、みんなが協力して明るい町づくりに努力している姿を、先生はすかにながめていられるであろう。御めい福を祈りたい。

# 町議会報告

## さながら人事議会

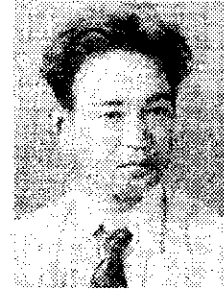
本年度第五回の町議会臨時会は正副議長及び常任委員長の申し合わせによる任期が満了する八月三十一日に招集された。したがって、この日のやまは最後に行なわれた。これら役員の変更にあつたが、いづれも無記名投票の結果、正副議長には新たに小林伝司、小川駒治の両氏が当選、四人の常任委員長についても、異動のなかつたのは田中総文委員長だけとなり、議会構成は二年ぶりで一新された。なお、当日審議された案件の中には、このほかに、任期満了となつた選挙管理委員と同補充員の改選、教育委員、固定資産評価審査委員会委員の選任等、人事に関するものが多く、一般議案は給与関係の条例改正が二件だけというありさまで、これは臨時議会ではなくて人事議会だ、という声も聞かれたほどであつた。

その他、継続審査中の請願七件新規請願二件が上程されたが、この中には「軍人恩給加算制復元に関する請願」のように、関係傍聴人注視の中で無記名投票によって採決を行なつた結果、十三対十一で採択されるといふ場面もあり、開会以来九時間にわたつて、終始緊張した空気の中で幕を閉じた。

## 小林議長と小川副議長

### 常任委員も半数が交替

予定された日程の全部が終了し、ととなり、休憩してその取り扱ひたのち、任期一年という申し合わせにより、まず副議長・常任委員長から馬場議長あて辞表が提出され、次いで馬場議長から年長議員小川駒治氏あてに辞表が提出された。そこで、小川臨時議長のもとで後任議長の選挙が行なわれることとなり、休憩してその取り扱ひ方法について協議が行なわれた。その結果、議長選挙は原則どおり単記無記名投票によつて行なうこととなり、午後五時二十一分再開した。日程に入つた。投票は議席順に整然と行なわれたが、開票の結果、小林伝司氏(中屋敷)が



小林 議長



小川 副議長

八票をもつて当選と決定、あいさつののち議長席についた。小林新議長の下で、引き続き副議長、常任委員長の選挙が行なわれたが、副議長については単記無記名投票により、八票をもつて小川駒治氏(岩瀬)が当選し、常任委員長については四名連記投票の結果、産経委員長について同点者が生じ、くして当選者を決定するという一コマがあつたが、それぞれ表のとおり決定した。なお最後に、各常任委員の選任が行なわれ、議長の名目により、次のとおり約半数が入れかわつた

## 新しい議会構成

改選後の議会構成は次のとおりである。(◎印は委員長、カツコ内は従前の役職名)

- 議長 小林伝司(財政・長)
- 副議長 小川駒治(土木)
- △総務文教委員(六名)
  - ◎田中三郎(留任) 馬場ト梅(留任) 議長
  - 高橋信吾(財政) 丸山宗太郎(留任) 市川富二(産経)
- △財政委員(六名)
  - ◎和久井精一(産経・長) 沢口由蔵(留任) 小川駒治(土木) 齊藤寿美翁(留任) 田中金造(総文) 平野義一(土木)
- △産業経済委員(七名)
  - ◎増田忠治(土木・長) 黒島豊一(留任) 須藤亮助(財政) 平野圭二(総文) 川崎清栄(留任) 滋野一郎(土木) 小海八太郎(留任)
- △土木委員(七名)
  - ◎富井正治(土木) 南雲章(財政)

## 選管・教委は再選

議会構成以外に当日行なわれた選挙、選任同意等人事関係の案件は次のとおりである。

九月十五日に任期満了となる教育委員の小幡義布氏(仁田)及び九月三十日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員の小林与作氏(中仙田)は、それぞれ再任と決定、また九月十五日に任期満了となる選挙管理委員には、現委員の丸山寛治(原田) 星名忠太郎(霜条) 南雲俊平(中仙田) 星名吉栄(元町)の四氏が、指名推薦により選出された。なお同時に選出された補充員については、現員の平野梅作(東善寺) 高橋喜栄(高倉) 西氏のほか、欠員の二名については新たに野沢猛熊(野口) 根津英作(上野)の両氏が選出された。

## 町政説明会終わる

合併三周年にあたり、町政の歩みを一一般町民に直接お知らせするため、八月二十四日の白倉を皮切りに、中仙田、室島、橋、手手、上野の順に町内六カ所において町政説明会が開催され、八月三十日に終了した。

説明者には中村町長をはじめ、正副議長・常任委員長及び地元議員が当たり、それぞれ担当部門についてわかり易い説明が行なわれ

たほか、疑問の点については別に質疑応答が行なわれた。聴衆はさすがに中年以上の男が多数であつたが、いづれの会場も聴衆の態度はきわめて真剣で、質疑も急所をついたものが多く、毎年このような催しを開催してほしいという要望が強かつた。

## 町の掲示板

◎ぎょう十日は、川西町役場で信濃川架橋期成同盟会が開かれる。さきに懸賞募集した橋名の第一次審査が行なわれて六名が選ばれるが、この中から県が一点を選ぶと橋の名が決まる。中旬までに橋名と架橋位置が公表されると、ただちに起工式が行なわれる予定。

◎小山橋(上野)仙田間の鶴吉沢にあるのは、今かけかえ(木橋)工事中。五日からの諸車通行どめは、十二日から解除される。

◎千手婦人会と公民館共催の敬老会は、十三日午前十時から千手小学校で開く。当日は七十才以上のとしより二百十人を、慢才、手品舞踊などで慰安する。

◎九月十五日現在で、基本選挙人名簿が調製される。次の該当者は町選管が配布する用紙に記入し、もれ落ちのないように申請していただきたい。①ことしの六月十五日までに川西町に住所を移し、引き続き住んでいる者。②ことしの十二月二十日までに、年令が満二十年以上になる者。

◎橋婦人会主催の敬老会は、二十日午前十時から橋小学校で開く。該当者は七十才以上のとしより百六十三名。橋青年学級演劇部が「

## 戸籍の窓から

(八月分)

- 野築の君・三幕」を上演する。
- ◎うぶ声一御すこやかに
- ◎山口ひろ子(甚平四女) 仁田◎高橋健市(徳市長男) 学校町◎相崎妙子(三好三女) 沖立◎本山百合子(行雄二女) 四十歩◎丸山敦子(和夫長女) 新町◎高橋正利(文夫一男) 伊友◎丸山和美(正作長女) 木島◎丸山喜信(喜徳三男) 下原◎田村智子(伸夫長女) 鶴吉◎田村利男(二男長男) 発電所通◎田村高志(昭平長男)
- ◎上野◎田畑正廣(純一長男) 元町◎丸山晴男(久一郎長男) 根深◎齋木裕治(俊雄二男) 山野田◎江口静子(定一長女) 小白倉◎小林信治(松治三男) 中仙田◎中村きよみ(金三三女) 大白倉◎南雲美津子(礼三郎二女) 中仙田
- ◎たかさご一御門満に
- ◎喜多 博(東善寺) 高橋アサ(上野から) ◎平野徳太郎(山野田) 高橋チヨ(山野田から) ◎江口則雄(小白倉) 布施ミヨ(三橋から) ◎登坂悦治(岩瀬) 高橋美江子(松代から) ◎中村源一郎(大白倉) 岡島ツタ(大白倉から)
- ◎昇天一御めい備を祈る
- ◎水品ハナ(七一) 三領◎渡貫ハツ(五七) 新町◎宮 マツ(五二) 山野田◎羽鳥八十一(五二) 木暮◎清水喜作(五七) 上野◎平野節子(二二) 東善寺◎野上トノ(七三) 田中◎登坂ヨカ(七四) 岩瀬◎高橋正吉(六〇) 高倉

住促進標語第一位入選作品

新潟県海外協会選定

# 一千万円の増収成るか

## 川西平野の開田計画

上野地区(千手の一部を含む)に、三十五ヘクタールという大規模な開田が計画され、町の農林係を中心に、いま関係者間で準備がすすめられている。開田予定地は、元町、上野、下平新田、霜条伊友など、川西平野一帯の畑地である。

三十五ヘクタール(一ヘクタールは約一町歩)の水田といえは、米にして百五十トン(二千石)とれる。年間一千万円を増収するというこの計画には、町でもたいへん力を入れようだが、どんな計画で、どのようにして田をつくらうとしているのか調べてみた。

### 用水源を

#### 松葉沢に

どこの開田でもいちばん問題となるのは用水源だが、この計画では松葉沢のため池を水源としている。郡内でも五指に数えられるこのため池は、旧上野村の「松葉沢ため池建設委員会」が、五年がかりで昭和二十六年に完成したものだ。最終設計書による貯水量は四万三千立方メートルで、これは坪山沢のため池の半分ではないが、実際には十五万立方メートル以上あるものと予想され、現在八十八ヘクタールの上野平野に給水してもなお余裕をもつほど大きなものである。しかし、現在の貯水量では前記の開田地帯に給水することはむりなので、これをもつと大きくして用水源にしようというつもりだ。

このためことしの五月に、農地建設課から渡辺技師が来町して健康診断を行なったところ、現在の土えん堤をさらに四メートルにまで盛り上げて貯水しても、なおくすめる心配のないほどじょうぶなため池であることが保証されている。

### 開田は

#### 補助と融資で

すでに土地改良協会と委託契約も終わったので、本格的な測量を九月下旬から開始する。そして十

一月上旬までにこの設計が終わると、千手土地改良区の総代会が開かれて、事業計画と予算が審議されることになっている。この結果旧上野村の地域が千手土地改良区に編入されることになれば、ただちに事業の認可申請が行なわれ、土地改良区の事業として開田がすすめられることになりそうだ。

とりあえず三十四年度は積雪法(積雪寒冷地帯振興臨時措置法)事業として、四割補助(補助の残額は八割融資)でため池と水路の工事を行なうが、開田整地工事は非補助、八割融資で実施するため農林省や県と折衝をはじめている。空前の大雨に見舞われたとはいえ、このまま順調にすすめば、このしも豊作型、山王原の重い稲穂が関係者をよこほらせているとき、

### 村の有志に一言

最近道路がよくなった。しかし、まだ狭くてわづらひ道のところも多い。直すのはいつ村のまんなの道だけ、それも何日に町議が見にくるからといって、急いで石を並べたり、土を盛ったりして繕うことが多いようだ。「村のため池、少しでもよいに補助金を……」という気持ちには解らなくもないが、こんなことで、大雨が降ればまた流されてしまう。

## 町の声

議員はわれわれの代表なのだから、飾らずにありのままを見てもらったほうがよい。特別の心づかいをすることはかえっていい効果を生まないだろう。補助金の獲得

二百五十(推定)世帯の受益者を中心に、町はいま開田ブームにわたっているようだ。新農川西町の、とれ秋にふさわしい明るい話題である。

### 南雲農林係長の話

町の農業が、こうして飛躍的に前進するのはうれしいことです。このほか再建整備中の上野農協には、年間七百五十万円(現在の二十五パーセントにあたる)の売り渡し代金が入ることになりますから、農協の運営面でも大きなプラスとなってくれます。必要であり、このためにはまた人期待しています。

(写真は用水源となる松葉沢ため池。この下に川西平野がある。提供：富井源蔵氏、上野)

も大事だが、それよりも、じょうぶな道を作ることが先決だと思っ

### まな隣家の枝

問 一メートルほどの道をはさんで、両家とも屋敷(畑の端)に木が植えてあります。うちの稲かげ木、隣りのは桐の木です。うちでは隣りの屋敷に伸びる枝を毎年切り払っていますが、隣りでは枝を払ってくれません。ですから秋になりまして、マキノが陰になつたりして育たず、しずくや葉が落ちて稲かけや花園にも困っています。今までいにくかったのですが、この場合「枝を切つてほしい」とこっちから請求することができのでしょうか。

答 民法二百三十三条に、「隣地の木の枝が境界線を越えるときはその所有者から切り払ってもらふことができる」となっています。

この場合に、①あくまでも幹が隣地にある木のこと。②所有者は、あくまでもその木の持ち主であって、占有者(賃貸人や土地の所有者)とは一致しないことある。③所有者から切り払ってもらふことはできるが、自分で切り払うことはできない。④相手方が請求に応じないときは訴訟によって強制するほかはない。という解釈ができます。あなたの場合、先方によく話せば切り払ってくれるのではないのでしょうか。

(上野・E.K.生)

## 庁内めぐり (10)

### 国保衛生係の巻 【その一】

「ゆりかごから墓場まで」の一翼をになって、長い人の一生を管理してくれる係。ここでは九人の職員が国保と衛生に分かれ、一致協力して住民の健康保持増進を図っている。

国保運営の成否は事務ヤによつて決まる。といわれるほどむずかしい事業だけに、意旨を普及して早期治療に努めることが何よりも必要であり、このためにはまた人一倍キレ頭で医師に接し、千手橋の直営診療所とつねに連絡提携して、予防衛生の完べきを期してゆかなければならない。

### 話し合いで解決を

答 民法二百三十三条に、「隣地の木の枝が境界線を越えるときはその所有者から切り払ってもらふことができる」となっています。

この場合に、①あくまでも幹が隣地にある木のこと。②所有者は、あくまでもその木の持ち主であって、占有者(賃貸人や土地の所有者)とは一致しないことある。③所有者から切り払ってもらふことはできるが、自分で切り払うことはできない。④相手方が請求に応じないときは訴訟によって強制するほかはない。という解釈ができます。あなたの場合、先方によく話せば切り払ってくれるのではないのでしょうか。

このほか伝染病の予防対策をはじめ、町の公衆衛生推進委員と協力して環境衛生を改善するため、住みよい郷土の建設にとりくんでいることをお伝えしておきたい。

平沢係長(仁田)は勤続十六年のベテラン。九人という大世帯をよくキリまわして、キビキビした腕のささところを見せてくれる。この人を語るには「天に代わりて」のころにさかのぼりたいが、「古キスにさわってくれるな」と釘を打たれてしまった。飲めばホドホドに酔い話せば口が達者、光あまねく名係長といったら怒られるだろうか。

星名憲三氏(十日町)は下平新田から川を越えたムコ、幼少のころ落語家にあこがれたが、ハチホクが悪くてあきらめたというボンドリアンだ。それでいて思慮深謀型、何事にも信頼できるのはよくよく人ができているからだろう。いま職組の副組合長としても活躍してくるし、ヤブ医者のコウシヤクはインタンに近い。

南雲 守氏(中仙田)はいささか気の強い人。数学を得意とするだけに頭はチミツだし、働きながら日大の政治経済科を終わった努力家だ。勤務のかたわら十高仙田分校の講師を兼ね、また職組の名書記長としても手腕が期待される。

小林英一氏(中屋敷)はハンサムな青年。ユーモアを解する明るい性格が、ときには同僚から「一年の割におとなだ」と評されることもある。仕事は熱心な努力型で好感のもてる人だ。「とても御清潔で尊敬できる方」という女性が、もうどこかにいるような気がする。

中魚沼郡川西町大字霜条 大海 臣

# たばこは町内で 買ってください

愛煙家の皆さま、「たばこ」は町内の「たばこ屋」で買って下さい。と申しあげても、決して「たばこ屋」の宣伝をしてい

たばこは町内で買ってください。愛煙家の皆さま、「たばこ」は町内の「たばこ屋」で買って下さい。と申しあげても、決して「たばこ屋」の宣伝をしてい

たばこは町内で買ってください。愛煙家の皆さま、「たばこ」は町内の「たばこ屋」で買って下さい。と申しあげても、決して「たばこ屋」の宣伝をしてい



たばこは町内で買ってください。愛煙家の皆さま、「たばこ」は町内の「たばこ屋」で買って下さい。と申しあげても、決して「たばこ屋」の宣伝をしてい

たばこは町内で買ってください。愛煙家の皆さま、「たばこ」は町内の「たばこ屋」で買って下さい。と申しあげても、決して「たばこ屋」の宣伝をしてい

## ☆ 国保だより

今春から、新大付病院をのぞいた県内の医療機関全部に、川西町の「国保被保険者証」が使用でき

このほか旅行や所用など、年間を通じて町外に出る延人員ははく大な数になります。この人たちがたばこ屋で買わずに町内で買

## ある女教師の手紙

何やら一学期のやりなわしめいた二学期が始まりました。外国では九月入学の所があるとか、日本でも八月に大学、高校の就職試験

「おかあさんはその戦争に反対ものだと思ひます。どの子もみんな生活が苦しい。何と努力しないで苦

こんなことのないように、「必ず被保険者証を提出して、支払いは半額にとめてください。」

## 浅井医師着任

千手診療所に、内科担任医師として、浅井信夫先生が着任(八月二十一日付)されました。

先生は東京医大出身で、内科神経科を専攻されています。みなさまの御来診を、お待ちいたしてあります。(国保衛生係)

「おかあさんはその戦争に反対ものだと思ひます。どの子もみんな生活が苦しい。何と努力しないで苦

## ふるさと

わがはいは近く生まれようとする橋である。なまははまだない。これまでも俗に下条橋と呼ばれて来たが、こんど誕生日を前にして正式ななまをき

かわにし 俳壇 金山 柏樹 野口 寅夫 新町 恭庸 岩瀬 桂子 朝草を知る錦の音近(けり) 元町 鉄平 飲みたててふきの葉すてし清水 かな 中仙田 遊人 台風のそし安堵や大層寝 岩瀬 喜美子 まわり来て吾子あやしゆく脚り かな 俳句は写生を尊びます。叙法はまずくても新鮮なるを望みます。(柏樹)

## 編集後記

「かわにし俳壇」でさしあげる記念品は、本号から、入選句のうち秀句(●印)だけにさせていただきます。ご了承ください。